

生日台ピノキオこども園

平成 31 及び元 (2019) 年度の苦情報告について

2019 年 8 月 16 日、水泳指導担当の保育教諭が、らいおん組 4 歳児に「明日から、あなた達子どもを通して富吉プールに車で連れていく事を伝えるので、名前を言われた人は自分でジュニアシートを持って来て下さい」と伝え、何名かの名前を言って伝えた。

(それ以前にもクラス便りで、子どもが親にジュニアシートを持って行くことを伝えることとお知らせしていた)

そのうちの児童のひとりが、次の朝ジュニアシートを抱えてピノキオこども園の入口に母親と並んで立っていた。

早番保育教諭が入口にいと、児童の抱えていたジュニアシートを突然取り上げて前に立った早番保育教諭に投げつけた。

保育教諭には幸い当たらなかったが、震えていたとのこと。

母親からは (ジュニアシートを持っていくことは) 子どもに言わせるのではなく、まずは親に伝えておくべきだとの発言がある。

園長は早番の保育教諭からこの報告を受ける。

その後、当該児童の父親が「園長とお話したいので午前中時間を作ってもらえませんか」と保育教諭に伝えたとの報告があり、8 月 19 日にその場を設けたが、内容は他の保護者への不満等が主で要領を得ず、話が堂々巡りになるため、園長が、親が不満を持って子どもを当園させるより、気に入る施設への転園を考えることも方法のひとつであると伝えた。

当該報告に係る児童は 2019 年 9 月 30 日をもって退園した。